

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 7月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	0171100191		
法人名	メリーライフ株式会社		
事業所名	グループホーム 里の家千歳		
所在地	千歳市若松町1丁目18-2 (電話) 0123-28-5183		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年6月29日	評価確定日	平成19年7月25日

【情報提供票より】 (19年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 4月 12日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	19人	常勤 5人, 非常勤 2人, 常勤換算	5, 9

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建て		
	3階建ての	1~3 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	61,000 円
敷金	有() 円 ○無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要 (6月29日現在)

利用者人数	27名	男性 7名	女性 20名
要介護1	6	要介護2	9
要介護3	5	要介護4	7
要介護5		要支援2	0
年齢	平均 81, 6歳	最低 62歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人いずみ会 北星病院、医療法人いずみ会 北星館
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

4つのグループホームを擁する法人本部では、現場グループホームとの業務分担を明確にして、現場ではできるだけケアサービスに専念できるよう煩雑な業務を本部で取り扱っております。それでもひとつの現場での些細な問題も法人全体の問題としてとらえて、解決のための取り組みは大きなエネルギーを使うことを少しも厭わない体質が法人の姿勢でもあるようです。開設以来のスタッフが、利用者及びご家族との結びつきを強め、良きユニットリーダーとして成長した姿を感慨深げに眺める管理者もまた、尽きることのないケアサービスの質の向上に情熱を持って望んでいることが判ります。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ユニット入口の鍵の閉鎖感と日中の施錠しない工夫が前回の改善課題でしたが、ユニット毎の日中の施錠とドアロックを遮蔽する試みでは、取り組みが十分ではありませんでした。また、夜間の勤務体制ですが3ユニットに2名の夜勤者の状態は改善されておりましたが、現在改善に向けた取り組みが検討されており、近く実現されるものと思われ</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、全ての項目についてスタッフが自分の考え方、これからどのように対応するかを詳細に記入している記録を見ることができました。この記録は各リーダーによって集約され、管理者と評価への取り組みが検討されるなど、評価の意義と理解、活用への共有がしっかりとできておりました。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議は2ヶ月に1度の開催がされておりますが、出席される地域の方々の理解は会議を重ねる毎に深まってきていることが、会議記録のなかから視えます。当初はホームの理念や運営、利用者の状況報告が主な内容でしたが、最近では地域の行事参加交流などテーマとなっております。これからは自己評価や外部評価の内容を積極的に開示しながら、取り組みや改善経過のモニター役を担ってもらうなど、サービスの向上に役立てることを期待します。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族との会話のなかに、ご家族の思いや要望が込められていることをスタッフは理解して、対応記録簿の記載を共有しながら対応をしています。家族会はできておりませんが、スタッフを交えないでご家族だけで忌憚のない話し合いも意見や要望・苦情を引き出すきっかけとなり、ホームの運営面に役立つとしたら、家族会の設立も検討の余地があるようです。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>幼稚園、小学校の行事、市民文化祭などへの参加、地域の祭事などで交流が図られています。利用者の方々も外出の機会と地域の人達との交流を楽しんでおり、これからもより積極的なお付き合いを期待いたします。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設以来、法人が定める独自の運営理念を掲げて、理念の達成に向けて鋭意努力していますが、「地域のなかで、その人らしく生活することを支えるケア」、いわば地域密着型サービスのイメージには若干の不足感を覚えます。	○	これまでの理念に加えて、地域密着型サービスの意義を全てのスタッフ間で確認しながら、地域生活の継続支援とホームと地域の関連強化を謳った表現を挿入するなど検討を望みます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、日常的な申し送りの際は勿論、ユニット会議などで理念の具現化についてスタッフに話しかけ、理念への実践に向けた共有を図っています。スタッフも利用者の尊厳ある生活の支援に努力しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の催し、幼稚園、小学校などの行事、また、市民文化祭などへの参加など積極的に地域と交流がされています。また、管理者は地区の自治会に出席するなど、地域とホームの絆の強化に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の作成については、個々の項目を全てのスタッフによる各自の考え方やこれからの取り組みが提出されて纏め上げており、現場の意見が尊重され、評価の具体的な取り組みに繋がっています。		

千歳市 グループホーム里の家千歳

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の開催ですが、地域の関係する委員の方々は積極的に出席を頂いており、話し合いの内容も具体的なテーマの取り組みなど、会議本来の充実が認められます。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	本部の担当者が、市の窓口に出向いて折衝や相談をしているほか、管理者も時折出向いてホームの現況など情報の伝達をしています。市の担当者も「勉強会」と称してホームでの体験も行なうなど連携を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や定期的な電話連絡、また月に1度発行される「里の家だより」は、各ホームの業務負担を軽減するため本部で作成されていますが、利用者の様子が十分に反映されて、写真、記事が満載されており、個人欄も用意されてるなど、ご家族の安心感を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	[意見箱] や相談窓口の専用電話回線も用意して、ご家族の方々の意見要望・苦情の受け入れ体制を整えております。ご家族が訪問時の会話などを対応記録簿に記して、些細なことでも意見要望として捉えて運営の改善に役立てています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設当初はスタッフの異動が度々ありましたが、現在では少なく、開設当初からのスタッフがリーダーとなって、馴染みの関係作りが構築されてきております。また、ユニット間の交流も盛んに行なわれており、ほかのユニットの利用者もスタッフの顔を覚えて頂けるようになっております。		

千歳市 グループホーム里の家千歳

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部が行なう内部研修、また市や協議会などの行なう外部研修にスタッフを参加させ、スキルアップを図っています。特に月1回、本部で開催される研修には各ユニットから1名の出席を得ています。また、本部派遣のスタッフによる現場指導も盛んに行なわれています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が主催する管理者協議会には、同業者間での交流、また、問題解決に役立たせており、管理者は積極的に意見交換、事例発表また質問に応じるなど業界のレベルアップにも貢献しています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人とご家族から情報を得て、利用者ができるだけ早期に安心したホーム生活を送れるよう配慮しています。時にはご家族にもホームに泊まって頂き、相談しながら意思の疎通を図るようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理、裁縫、畑仕事など、スタッフは教えて頂きながら、利用者の暮らしがより楽しく過ごせるよう支援しております。ホームの行事が期待して頂けるよう行事ポスターもみんなで作るなど利用者の気持ちに寄り添ってのサービスを心掛けています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、言葉や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしています。表現することが困難など、意思疎通ができない場合は、ご家族や関係者から情報を得るよう努力しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニット会議や、日常的に行なわれる意見交換、またケアカンファレンスでスタッフの気づきを集約して介護計画に反映させています。また、ご家族との面会時を利用した会話の中から意見などを聞き、利用者本人のための計画作成を行ない実践しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	明示された3ヶ月という期間にこだわらず、ご家族や本人の希望、また、状態の変化や入退院があった際にも随時話し合いを持ちながら計画の見直しを行なっています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者やご家族の意見要望に沿うべく、利用者が行きつけの理美容院への送迎支援、また、整骨院や病院への送り迎え、町内行事への参加など、ホームサービスの充実を図り提供しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者やご家族の希望がある場合には、その希望に添った掛りつけ医の受診を支援するほか、それ以外はホームが契約している協力医療機関の適切な医療が受けられるよう努めています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについては、ご家族と機会あるごとに話し合いの場を設けるようにしています。ご家族との意見に相違が生じた場合は、掛りつけ医の助言を頂くなどして相互の理解を深めるようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレへの誘導、汚れや臭い、食べこぼし等に対する声掛けなど、利用者のプライドに細心の配慮をしていますが、トイレの棚に置かれたオムツに名前が書かれており、ほかの利用者やご家族の目に触れる不安を感じました。	○	オムツを使用する利用者の尊厳とプライバシーを損なうことなく、名前の明示に代わるイニシャルを記すなど改善に向けた検討が望まれます。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、時間で区切るような過ごし方はしていません。昼寝のため遅い昼食、買物や散歩も一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応をしています。		

千歳市 グループホーム里の家千歳

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、栄養のバランスとともに、美味しそうな盛り付けも大切な要素であることから、3ヶ月に1度、ユニットごとで昼食のコンクールを継続して行なわれています。毎日のメニューも利用者の希望を取り入れて作られています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の入浴は、週に3回は入って頂くよう配慮していますが、毎日の入浴希望も可能となるよう支援をしています。入浴時間や順番など希望を聞きながら、くつろいで入浴をされています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食器拭き、洗濯物たたみ、菜園での作業、新聞を読む、行事のポスター作りなど自発的に行なわれており、スタッフはさり気なく見守り、やりがいや張り合いを感じて頂くよう支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム近辺の散歩も日常的に行なわれており、ホームの2台の車でのドライブで度々外出をして気分転換を図るようにしています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の安全を考慮して各ユニットごと日中でも施錠がされています。前回の外部評価でも改善が指摘され、ドアのロック装置もアクセサリーなどで目に付きづらくする検討と改良も十分とは思えません。	○	[危険だから]、「不審者進入防止」のためとはいえ、ユニット毎での日中の施錠は改善を要します。スタッフの見守りの徹底など、また、時間帯を決めて段階的な開錠を試みるなど、ドアロック装置も含め、是非改善に向けた協議検討を望みます。

千歳市 グループホーム里の家千歳

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に際しては、エレベーターの使用はせず、各ユニットの居間からの非常口を利用することにしており、年2回の消防訓練は利用者も加わり実施されています。また、近隣の住民にも避難への協力をお願いしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事、栄養バランスを考えた食事の提供をしています。一日の食事量、水分の摂取量など記録して、適切な支援ができるよう配慮がされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内の飾り付けも華美ではなく、室温や音、光など五感刺激への配慮もされており家庭的な雰囲気です。利用者は心地よい共用空間の中でゆったりとした暮らしが営まれています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、使い慣れた鏡台、整理ダンスなどの家具が持ち込まれ、壁などに貼られた絵画、写真は利用者の大切な思い出が込められており、居心地の良い安心の暮らしができるよう配慮がされています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。